

# 神奈川新聞

## 銀座問題で自民離党 次期衆院選に 松本氏出馬へ

新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言中に東京・銀座のクラブを訪れていた問題で自民党を離党した松本純・元国家公安委員長(衆院神奈川1区)が16日、今秋行われる衆院選に立候補する意向を表明した。



記者団の取材に衆院選出馬の意向を表明した松本純氏  
16日午前、県庁

剤師として日本の研究開発のスピードアップに取り組み、「コロナ対策を進めたい」と語った。

自民党復党への希望も示した上で、「自分が決めることではない。無所属である」と挑戦させていたと述べた。

松本氏は宣言期間中の今年1月、深夜に銀座のクラブをほしごしていたことが発覚。責任を取って党国対委員長代理を辞任後、2月に自民党から離党勧告処分を受け、離党した。

1区を巡っては自民党県連が7月、地元の所属県議・市議は松本氏を支援する

意思が固いと見て、次期衆院選に党公認候補を擁立しない方針を決めていた。

1区には他に、立憲民主党の現職・篠原豪氏、日本

維新の会の新人・浅川義治氏が出馬を予定している。  
(佐々木 航哉)